

授業計画（シラバス）

学科	インテリアデザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	カラーコーディネート	総時間	前期	4.0×18
	後期		2.0×17							
指導目標	公益社団法人色彩検定協会（A・F・T）の色彩検定2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	ビジネス能力	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス2級・3級に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1・2	区分	講義	科目	福祉住環境コーディネーター	総時間	前期	4.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	福祉住環境整備の基本的視点として欠かせない福祉の考え方をはじめ、福祉住環境コーディネーターの心構えと役割、関連専門職との連携のとり方、自立した住生活を支える施策をトータルに捉えるようにする。 東京商工会議所認定の福祉住環境コーディネーター2級検定試験に合格できる能力を身に付けさせる。									
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	講義1					1	講義19			
2	講義2					2	講義20			
3	講義3					3	講義21			
4	講義4					4	講義22			
5	講義5					5	講義23			
6	講義6					6	講義24			
7	講義7					7	講義25			
8	講義8					8	講義26			
9	講義9					9	講義27			
10	講義10					10	講義28			
11	講義11					11	講義29			
12	講義12					12	講義30			
13	講義13					13	講義31			
14	講義14					14	講義32			
15	講義15					15	講義33			
16	講義16					16	講義34			
17	講義17					17	講義35			
18	講義18									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	建築施工管理技術	総時間	前期	4.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	2級建築施工管理技術検定試験を合格を目標にして、入学してから学習した建築全般（計画・法規・構造・施工）の知識の総復習を行う。										
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	講義1					1	講義19				
2	講義2					2	講義20				
3	講義3					3	講義21				
4	講義4					4	講義22				
5	講義5					5	講義23				
6	講義6					6	講義24				
7	講義7					7	講義25				
8	講義8					8	講義26				
9	講義9					9	講義27				
10	講義10					10	講義28				
11	講義11					11	講義29				
12	講義12					12	講義30				
13	講義13					13	講義31				
14	講義14					14	講義32				
15	講義15					15	講義33				
16	講義16					16	講義34				
17	講義17					17	講義35				
18	講義18										
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	管工事施工管理技術	総時間	前期	4.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	2級管工事施工管理技術検定試験の合格を目標に管工事に関する基礎知識、専門知識、施工管理、関係法規について修得させる。										
評価方法	出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	講義1					1	講義19				
2	講義2					2	講義20				
3	講義3					3	講義21				
4	講義4					4	講義22				
5	講義5					5	講義23				
6	講義6					6	講義24				
7	講義7					7	講義25				
8	講義8					8	講義26				
9	講義9					9	講義27				
10	講義10					10	講義28				
11	講義11					11	講義29				
12	講義12					12	講義30				
13	講義13					13	講義31				
14	講義14					14	講義32				
15	講義15					15	講義33				
16	講義16					16	講義34				
17	講義17					17	講義35				
18	講義18										
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	数学	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>建築に必要な数学の基礎を習得することを目標とする。 使用する単位、面積計算に必要な図形、力学計算に必要な三角比・関数計算とグラフの関係・指数計算ができるようにする。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	数について・整式の計算方法									
2	単位とその成り立ち									
3	比と比例について									
4	関数とグラフ									
5	一次関数									
6	"									
7	二次関数									
8	"									
9	指数法則と指数関数とは									
10	対数法則と対数関数とは									
11	図形について（幾何学）									
12	"									
13	三角比と三角関数とは									
14	ベクトル（線形性）について									
15	論理と集合について									
16	建設業で使う数学とは									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア概論	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築系の各分野で活躍されている方から業界の魅力を学び、自らの働く姿を想像し卒業後の目標を見つける手がかりとする。また、現場の実情なども知り社会的な課題と共に、今後の展望について技術者像をイメージするきっかけとする。									
評価方法	レポート・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション/専門学校で学んでほしいこと									
2	講義1 業界の現状と展望 (総合資格学院)									
3	講義2 社会人としての、コミュニケーションとプレゼンテーション									
4	講義3 家づくりの仕事									
5	講義4 インテリアスタイリング									
6	"									
7	講義5 ユニバーサルデザイン・福祉住環境整備									
8	"									
9	講義6 施工管理の仕事									
10	"									
11	講義7 建築の設備									
12	講義8 照明のデザイン									
13	講義9 設計事務所におけるCGの活用									
14	"									
15	講義10 BIMについて									
16	"									
17	講義11									
18	講義12 発表会・まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築・インテリア計画	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>日常の生活と建築・インテリアとの関わりについて考えさせるとともに、建築・インテリア計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。生活空間のあり方を人間のサイズや行動からとらえたうえで、色、形、材質及び、その構成や、構造が及ぼす影響を理解し、創造的で豊かな建築・インテリアの計画を目指す姿勢を養う。</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築計画									
2	"									
3	"									
4	"									
5	"									
6	"									
7	"									
8	"									
9	"									
10	インテリア計画									
11	"									
12	"									
13	"									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築史 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	西洋建築（石の建築）と日本建築（木の建築）の歴史を全般的に学ぶことで、人間の暮らしと建築物、そして環境との関係性について知るきっかけとする。また、日本国内だけでなく世界の建築物を通して建築に対する見識を広げる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築史概論・茶室と数奇屋・近世の建築・民家									
2	近代建築の3大材料・近代建築・現代建築									
3	エジプト・オリエント建築									
4	キリシア建築・ローマ建築									
5	初期キリスト建築・ビザンティン建築									
6	"									
7	ビザンティン建築・イスラム建築									
8	"									
9	イスラム建築・ロマネスク建築									
10	"									
11	ゴシック建築・ルネサンス建築									
12	"									
13	バロック建築・（ロココ様式）									
14	バロック建築（リヴァイヴァル建築）									
15	中世の神社・仏教建築									
16	"									
17	中世の住宅建築（書院造）・城郭建築									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	構造力学 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>構造物（建築物）がいかにかに建っているのか、力はどうのように働くのか、力学的な考え方の基礎を理解する。建築物がなぜこのような形をしているのか、どのように計画していくかを理解するための一歩目とする。以下の理解・習得を目標とする。</p> <p>(1) 力の性質と表現方法を理解する (2) 力を分解することができる (3) 反力を、力のつり合いをもとに単一材と簡単なラーメン構造で求めることができる</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	構造力学とは何か？必要な算術、電卓の使い方									
2	力学の基礎（力とは、力のモーメント、単位、記号等）									
3	力学の基礎（つり合い、力の合成と分解）									
4	構造物のモデル化、荷重の種類									
5	構造物のモデル化、荷重の種類									
6	外力と反力（全般）									
7	外力と反力（全般）									
8	外力と反力（単純梁）									
9	外力と反力（単純梁）									
10	外力と反力（片持ち梁）									
11	外力と反力（片持ち梁）									
12	外力と反力（張り出し梁）									
13	外力と反力（張り出し梁）									
14	外力と反力（単純ラーメン）									
15	外力と反力（単純ラーメン）									
16	外力と反力（単純ラーメン）									
17	外力と反力（単純ラーメン）									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造 I	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	木構造の基本的な組み方と部材を性質とともに理解し、「建築インテリア基礎製図演習」と連動して、図面を描いたり設計をする際の基礎知識を養う。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	総説・建築構法の変遷・建築構造の分類									
2	木構造の概要									
3	木構造を構成する各部材・木材の性質									
4	軸組・土台・柱									
5	桁・胴差									
6	"									
7	筋違・火打・貫・間柱									
8	"									
9	地付床（1階床組）									
10	上階床（1階床組・2階床組）									
11	基礎・軸組・床組／断面算定									
12	"									
13	小テスト小屋組の考え方・寄棟屋根のかけ方									
14	天井・壁・床									
15	"									
16	階段									
17	床の間回り・床脇・書院									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリア基礎製図演習	総時間	前期	8.0×18
									後期	
指導目標	木造における一般図や詳細図の基本事項をトレースを通じて習得させ、製図技法や表現能力を身に付けさせる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ガイダンス・建築製図の説明 基本技法の練習 線・文字・数字の練習									
2	" 表示記号									
3	木造2階建住宅 写図 平面図(1階)									
4	平面図(2階)									
5	断面図									
6	立面図									
7	"									
8	配置図・面積表									
9	基礎伏図・1階床伏図									
10	2階床伏図・小屋伏図									
11	矩計図									
12	"									
13	木造2階建住宅 設計課題 課題説明・エスキース									
14	エスキース									
15	作図(立面図・断面図)									
16	作図(矩計図)									
17	総合提出									
18	講評会									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	I Tリテラシー	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	パソコンの起動、終了、保存、マウス・キーボード操作、基本用語、PC各部の名称などの基本を学び、MicrosoftOfficeの操作を習得する。また、インターネットを活用する上での安全な使い方や、分析して活用する能力を身に着ける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	パソコン基礎 パソコン初期設定・Officeインストール									
2	word基本									
3	"									
4	"									
5	"									
6	"									
7	excel基本									
8	"									
9	"									
10	"									
11	"									
12	PowerPoint基本操作									
13	"									
14	"									
15	"									
16	プレゼンテーション課題									
17	"									
18	発表									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	建築・インテリアデザイン演習	総時間	前期 後期	4.0×18
指導目標	<p>建築・インテリアの職業に就くために必要な「空間」づくりの基本を学ぶことを目的とする。 課題を通して、以下の力を身に着けることを目標とする。 (1) 色を与えるイメージや基本的な色の構成を理解する (2) 空間創造のコンセプトワークによって、イメージを具体的な空間に落とし込む能力を養う (3) 模型を制作する基本的な技術と表現力を身につける。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	美しい形をつくろう									
2	色相環									
3	色彩構成									
4	5Mキューブ 課題の説明									
5	5Mキューブ テーマとコンセプトの立案									
6	"									
7	"									
8	5Mキューブ エスキス									
9	"									
10	"									
11	"									
12	"									
13	5Mキューブ 作図・模型製作									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	発表									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	レンダリング演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	デッサンや着色、透視図等の基本的な表現技法を学ぶことで、プレゼンテーションで使える様々な表現方法を習得する。立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	似顔絵デッサン									
2	似顔絵デッサン 発表									
3	デッサン基礎 (グレースケールと立方体)									
4	デッサン基礎 (ビール瓶と空き缶)									
5	"									
6	アイソメ・アクソメ									
7	"									
8	"									
9	"									
10	グリッド									
11	"									
12	"									
13	1点透視									
14	"									
15	"									
16	2点透視									
17	"									
18	まとめ									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	インテリア計画	総時間		
								後期	2.0×17	
指導目標	インテリア空間の機能的、技術的、心理的側面と計画技術を学ぶ。生活空間のあり方を人間のサイズや行動からとらえたうえで、各スペースごとに、必要な機能を理解し、色、形、材質、空間構成や法規を含めた幅広い知識を習得させる。公共空間においては、公共空間の計画の基本を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	インテリアデザインと住生活			
						2	インテリアと人間			
						3	"			
						4	インテリアと心理			
						5	"			
						6	インテリアと安全			
						7	"			
						8	住まいのインテリア設計			
						9	"			
						10	内装計画			
						11	"			
						12	"			
						13	小テスト			
						14	公共施設のインテリア			
						15	"			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	デザイン史	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	現代のデザインにつながる様式やスタイルが形成された、産業革命以降の西洋と日本を中心にインテリアデザインの変遷について考察していく。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	デザイン様式（西洋・中世～近世）			
						2	デザイン様式（西洋・近代）			
						3	"			
						4	デザイン様式（日本・近代）			
						5	"			
						6	"			
						7	デザイン様式（現代）			
						8	"			
						9	椅子の歴史			
						10	"			
						11	デザイン様式（現代）			
						12	"			
						13	デザイン様式調べ			
						14	様式調べ発表			
						15	デザイン様式（日本・住宅）			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	インテリアエレメント・建築材料 I	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	空間を構成する、材料、部材、設備機器などについて、商品知識的なものも含めて、総合的に理解し、それらを、諸条件に適合するよう、適切に選択し、トータルに空間提案が出来る力を養う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	オリエンテーション			
						2	素材とイメージ・素材の研究			
						3	"			
						4	テクスチャー作り			
						5	"			
						6	"			
						7	内装材の組み合わせ			
						8	"			
						9	選択			
						10	"			
						11	テクスチャーイメージの伝え方			
						12	プレゼンボード作成			
						13	"			
						14	"			
						15	合評会			
						16	"			
						17	講評・まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	建築構造Ⅱ	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	RC造、S造の基本的な仕組みを理解し、それぞれの建物の特徴や違いを知ることによって建築に対する視野を広げる。また、住宅においてもRC造やS造が用いられることを踏まえて、設計に生かせる基礎的な知識を養う。二級建築士受験の上でも科目の1つとなっている分野であるので、受験を想定した問題にも取り組む。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	RC造 RC造の特徴			
						2	主体各部の構造			
						3	"			
						4	基礎構造			
						5	"			
						6	"			
						7	RCの材料			
						8	"			
						9	柱・梁の配筋			
						10	"			
						11	壁・床の配筋			
						12	壁式構造の特徴			
						13	S造 S造の特徴・構造概要			
						14	主体各部の構造			
						15	接合方法			
						16	溶接の種類			
						17	基礎構造・その他の構造			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	室内環境計画	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	<p>環境工学、音響工学を理論的知識を習得し、快適、安全で健康的な環境とは何かを考察しそれらをふまえた計画ができる応用力を習得する。 ※【設備計画】と連動した科目である。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	気候風土と環境									
2	すまいと環境									
3	〃									
4	伝熱									
5	熱環境と断熱									
6	室内環境									
7	〃									
8	結露									
9	〃									
10	湿度と通風									
11	〃									
12	音の基本的事項									
13	音環境									
14	〃									
15	光の基本的事項									
16	採光・日照・日射									
17	〃									
18	光の基本的事項									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	設備計画	総時間	前期	
									後期	2.0 × 17
指導目標	環境工学、音響工学を理論的にも感覚的にも理解し、快適、安全で健康的な環境とは何かを考察しそれらをふまえた計画ができる基本的知識を習得する。 その上で、住宅設備機器をどのように取り入れていったらよいかを、その機能や施工法を踏まえて理解する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	オリエンテーション 設備計画とは			
						2	給排水の基本			
						3	"			
						4	"			
						5	換気・空調の基本			
						6	"			
						7	"			
						8	電気・通信の基本			
						9	"			
						10	"			
						11	オフィス・その他の施設の設備			
						12	"			
						13	"			
						14	省エネ設計とは			
						15	"			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	インテリア関連法規	総時間	前期	2.0 × 18
									後期	
指導目標	建築・インテリアの関連法規の基礎的知識について、実務上優先度の高いものを中心に習得していく。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	概要 建築基準法（用語と定義）									
2	形態の制限に関する規定（採光）									
3	"（換気・シックハウス）									
4	"（床高・天井高・地下室）									
5	"（階段）									
6	避難・防火材料									
7	内装制限									
8	都市計画区域・建築確認申請									
9	形態の制限に関する規定（面積・高さ）									
10	"									
11	"									
12	品確法・PL法									
13	消防法・建築士法・ハートビル法									
14	電気・ガス関連法規									
15	消費者関連法規（割賦販売法・特定商取引法・独禁法など）									
16	"（基準・マーク・品質表示）									
17	事例研究									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	インテリア施工	総時間	前期	2.0 × 18
									後期	
指導目標	各種仕上げ工事の基礎的な知識の習得と、見積りの演習を行い、コスト感覚を持った積算実務の基礎を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	施工・積算の概要（構造材料）									
2	工事費・単価・数量積算の流れ									
3	防水・左官工事									
4	〃									
5	石・タイル工事									
6	〃									
7	建具・ガラス工事									
8	〃									
9	塗装工事									
10	〃									
11	内装工事									
12	〃									
13	断熱工事									
14	〃									
15	実例による見積書作成									
16	〃									
17	提出・講評会									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	インテリアデザイン総論	総時間	前期	4.0×17
									後期	
指導目標	横断的に既習内容を整理し、フォローアップとして関連する応用課題や研究を行う。 また、習得したスキルを用いて、デザイン打ち合わせができる総合力を養う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	エクステリアデザイン演習 1			
						2	エクステリアデザイン演習 2			
						3	エクステリアデザイン演習 3			
						4	エクステリアデザイン演習 4			
						5	エクステリアデザイン演習 5			
						6	エクステリアデザイン演習 6			
						7	関連分野研究①			
						8	関連分野研究②			
						9	関連分野研究③			
						10	総合課題：友達の空間①			
						11	総合課題：友達の空間②			
						12	総合課題：友達の空間③			
						13	総合課題：友達の空間プレゼン			
						14	特別講義・ワークショップ 1			
						15	特別講義・ワークショップ 2			
						16	特別講義・ワークショップ 3			
						17	振り返り・まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	講義	科目	インテリアエレメント・建築材料Ⅱ	総時間	前期	2.0×17
									後期	
指導目標	<p>材料の特性を知り、建材としての一般的な使用時の注意事項などを理解する。 さらに詳細及び、2級建築士に対応できる知識も身につけさせる。</p>									
評価方法	<p>課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	概要			
						2	木材			
						3	"			
						4	コンクリート			
						5	"			
						6	鋼材・非鉄金属材料			
						7	"			
						8	石材・ガラス・陶磁器			
						9	"			
						10	左官材料			
						11	"			
						12	プラスチック			
						13	内装材料(床・壁・天井)			
						14	"			
						15	外装材料(壁・屋根)			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	講義	科目	プロジェクトデザイン論	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	インテリアを取り巻くビジネスについて様々な視点から観察、調査し、その仕組みを理解した上で、マーケティングから、企画・プロデュースのプロセスをシュミレーションすることにより、新しい視点と、発想力を育てる。さらに、将来は、ビジネスチャンスを自ら開拓し、商環境の発展に貢献できる感性を養う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	概説・業務・業態・商環境の変化 インテリア関連の業種			
						2	"			
						3	"			
						4	リサーチ・分析			
						5	"			
						6	企画			
						7	"			
						8	"			
						9	プレゼンテーション			
						10	"			
						11	"			
						12	ディスカッション			
						13	"			
						14	営業・販売			
						15	"			
						16	"			
						17	顧客満足・顧客管理 まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	プレゼンテーション技術演習 I	総時間	前期	2.0×17	
									後期		
指導目標	プレゼンテーションの目的や法則（レイアウトや色彩等）を理解し、イメージを的確に伝達できる技術を養う										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	プレゼンテーションとは				
						2	模型制作①				
						3	模型制作② レイアウト演習①紙とペンでプレゼンボード制作				
						4	模型制作② レイアウト演習①紙とペンでプレゼンボード制作				
						5	模型制作③ レイアウト演習②（ポスター制作）				
						6	模型制作③ レイアウト演習②（ポスター制作）				
						7	模型制作④ レイアウト演習③（空間のプレゼンボード制作）				
						8	模型制作④ レイアウト演習③（空間のプレゼンボード制作）				
						9	模型制作⑤				
						10	模型制作⑤				
						11	模型制作⑥				
						12	模型制作⑥				
						13	模型制作⑥				
						14	プレゼンテーション				
						15	"				
						16	講評とまとめ				
						17	"				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	プレゼンテーション技術 演習Ⅱ	総時間	前期 後期	2.0×17	
指導 目標	インテリアデザインをプレゼンテーションするにあたり、使用するツールを選択すること、それらを駆使して適切なアピールをするための過程を学ぶ。 また、デザイン意図を魅力的に表現するために、論理的で計算されたプレゼンテーションができることを目標とする。										
評価 方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	卒業制作 プレゼン構成決定				
						2	"				
						3	"				
						4	"				
						5	卒業制作 リアルモデル作成方針検討				
						6	"				
						7	"				
						8	卒業制作 プレゼンボード構成決定				
						9	"				
						10	ミニプレゼン（予行演習）				
						11	コンセプトボードチェック				
						12	"				
						13	ボード、追加資料等編集				
						14	"				
						15	プレゼンテーション（ボード編集ほか）				
						16	総合プレ提出（全体チェック）				
						17	プレゼンブラッシュアップ				
備 考											

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	インテリア製図演習	総時間			
								後期	4.0	17	
指導目標	<p>図面を読み取り、空間情報の伝達手段としての製図技術を身につけることを目的として、考えながらトレースをする習慣を身につけさせる。 同時に、住空間、物販店、飲食店の一般図や詳細図の基本事項を、理解させ、表現能力を向上させる。</p>										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	基本寸法の活用				
						2	木造住宅の設計				
						3	"				
						4	"				
						5	"				
						6	"				
						7	プレゼン・講評会				
						8	オリジナルハウス				
						9	"				
						10	"				
						11	コンセプトワーク				
						12	"				
						13	作図				
						14	"				
						15	模型				
						16	"				
						17	プレゼン・講評会				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	インテリアスタイリング演習	総時間	前期 後期	4.0×17
指導目標	<p>住まいのインテリアコーディネーションのための技術・知識を養うために、住空間を構成する様々なエレメントと、住まい手のかかわりについて、人間工学、人体寸法、動作空間、空間の心理などを踏まえて的確にとらえる力をつける。</p> <p>また、クライアントのライフスタイルの分析や、住宅やインテリア業界におけるマーケティングを含めたニーズの把握について学び、発想力を培う。そのために、カラーやフォルム、テクスチャを活用して、いかに空間に、クライアントの個性を落としこみ、調和の取れたインテリアを創造していくかを理解する</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	オリエンテーション、コーディネート体験				
					2	カラー基礎 1, 2				
					3	配色基礎 1, 2				
					4	イメージ表現 (イメージを作る要素)				
					5	イメージ分析 (色の抽出からイメージの分析まで) イメージ分析のプレゼンテーション				
					6	スタイリングボード制作・プレゼンテーション				
					7	インテリアモジュール (人体寸法と家具寸法、動作空間など) /家具レイアウト				
					8	家具レイアウト実習 家具レイアウトのプレゼンテーション				
					9	MY ROOM STYLING 製作 (レイアウト) 商品選択				
					10	MY ROOM STYLING 製作 (商品選択チェック) (商品選択、ボード作成)				
					11	"				
					12	MY ROOM STYLING 製作 (ボード作成)				
					13	"				
					14	"				
					15	プレゼンテーション				
					16	"				
					17	まとめ				
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	デジタルプレゼンテーション演習	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	色彩・レイアウトなどグラフィックデザインの基礎を学び、建築・インテリアのプレゼンテーションにおける図面・ボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	コンピュータを使ったプレゼンテーションとは word・excel基本・Adobeインストール				
					2	Illustrator① 基本操作とオブジェクトの作成・操作				
					3	Illustrator② テキスト入力・編集・表・グラフ				
					4	"				
					5	Illustrator③ 素材作成テクニック 効果的な図面表現とは（図面着色）・実例紹介				
					6	"				
					7	"				
					8	"				
					9	"				
					10	Photoshop&Illustrator① プレゼンボード作成 （建物オモイ帖）				
					11	"				
					12	"				
					13	"				
					14	"				
					15	"				
					16	"				
					17	発表				
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	ショップデザイン演習	総時間	前期 後期	4.0×17	
指導目標	商業空間の設計をとおして、学生各自の自由な発想と表現する力を養うとともに、個性を引き出し、コンセプトワークをとおして、商業空間デザインの表現力とプレゼンテーション効果を迫及する態度を身に付けさせる。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	店舗プランからオープンまで 自分の好きなデザインの探し方。見つけ方。				
						2	商業施設ビルのファサードデザイン				
						3	構想				
						4	パース作成				
						5	パース作成 基本設計図『平、立、展』				
						6	パース作成 基本設計図『平、立、展』				
						7	課題提出・講評会				
						8	課題 『物販店or物販店のデザイン』構想				
						9	課題 『物販店or物販店のデザイン』構想				
						10	パース作成				
						11	パース作成				
						12	パース作成				
						13	パース作成 基本設計図『平、立、展』 プレゼンボード作成				
						14	パース作成 基本設計図『平、立、展』 プレゼンボード作成				
						15	基本設計図『平、立、展』 プレゼンボード作成				
						16	基本設計図『平、立、展』 プレゼンボード作成				
						17	課題提出・講評会				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	CAD演習	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	色彩・レイアウトなどグラフィックデザインの基礎を学び、建築・インテリアのプレゼンテーションにおける図面・ボード・ドキュメント等のデジタルによる表現方法を習得する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	Vector Works基本操作①			
						2	" 基本操作②			
						3	" 基本操作③			
						4	総合課題 1			
						5	"			
						6	"			
						7	"			
						8	"			
						9	"			
						10	"			
						11	"			
						12	"			
						13	プレゼンテーション			
						14	"			
						15	ブラッシュアップ			
						16	"			
						17	発表			
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	3次元CAD演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	VectorWorksを用いたCGの作成と、アドビPhotoshop Illustratorといった他のソフトと併用し、より表現力の高いプレゼンテーション資料制作の基礎力を養う。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	VectorWorksによるレンダリングについて									
2	レンダリング演習									
3	"									
4	"									
5	レンダリング演習									
6	"									
7	"									
8	"									
9	プレゼンテーション演習									
10	"									
11	"									
12	"									
13	課題（ボード作成）									
14	"									
15	課題（ボード作成）									
16	"									
17	プレゼン									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	3次元CAD演習Ⅱ	総時間	前期	2.0×17
									後期	
指導目標	インテリアの可能性を理解し、その効果的な見せ方と3DCADの応用力をつける。インテリアを魅力的に表現する表現力を向上させ、空間全体のコーディネートが伝わるように工夫すると同時に、インテリアデザインのコンセプトを掘り下げ、具体化する手法を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	CG、DTPについて			
						2	"			
						3	CGのアンクル、光について			
						4	"			
						5	テクスチャーについて			
						6	"			
						7	"			
						8	作品の見せ方、ボードの編集のポイント			
						9	"			
						10	"			
						11	空間のコンセプトと3D表現			
						12	"			
						13	"			
						14	"			
						15	卒制ブラッシュアップ			
						16	"			
						17	まとめ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	ライティングデザイン演習	総時間	前期	4.0×18	
									後期		
指導目標	照明器具及び照明計画の基礎事項を理解させるとともに、住空間・商業空間に効果的に活用できる方法を身に付けさせる。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	「照明する」ということ										
2	光と心理・生理										
3	光源（ランプ）										
4	照明器具（ショールーム見学会）										
5	効果的照明手法										
6	”										
7	住宅の照明										
8	”										
9	住宅の照明計画（演習）										
10	”										
11	課題「明かりを作る」（検討会）（作品制作）										
12	”（ボード作成）										
13	”（提出・講評会）										
14	店舗・商業施設の照明										
15	”（演習）										
16	法に定められた照明										
17	事例研究										
18	まとめ										
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	ファニチャーデザイン演習	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	一般的な家具を理解するとともに、インテリア製品に実態と現状を学習した上で、家具の設計に必要な基礎知識を習得させる。また、家具の設計における基本的な表現方法（3面図・詳細図）を学び、さらに人体系家具・収納系家具を設計することにより、発想豊かな表現力とプレゼンテーション技術を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション・家具デザインの概要									
2	家具の分類 人体系家具 図面表現法 図法解説・3面図、詳細図写図									
3	家具の分類 準人体系家具 人体系家具の設計（椅子）課題説明エスキース									
4	家具の分類 準人体系家具 エスキースチェック									
5	家具の分類 収納系家具 3面図作成									
6	家具の分類 収納系家具 3D表現（パース/CG/モデル）									
7	"									
8	JIS規格 3D表現（パース/CG/モデル）									
9	"									
10	家具の構造と名称 総合提出 講評会									
11	家具の構造と名称 収納系家具の設計（什器）課題説明エスキース									
12	家具の構造と名称 エスキースチェック									
13	"									
14	家具の材料 コンセプトボード作成									
15	"									
16	3面図作成									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	ユニバーサルデザイン演習	総時間	前期 後期	4.0×17
指導目標	住宅リフォームにおける営業・設計・積算・施工管理などの一連業務の基礎知識を習得した上で、基礎技術を習得する。 ※【室内環境計画】【設備計画】と連携した授業である。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	概要説明・住宅リフォームの現場調査方法			
						2	リフォームの基礎知識とプラン			
						3	浴室の改造計画			
						4	洗面・トイレの改造計画			
						5	キッチンの改造計画			
						6	マンションリフォーム計画			
						7	木造住宅リフォーム計画Ⅰ			
						8	木造住宅リフォーム計画Ⅱ			
						9	木造住宅リフォーム計画Ⅲ			
						10	木造住宅リフォーム計画Ⅳ			
						11	見積り書作成Ⅰ			
						12	見積り書作成Ⅱ			
						13	バリアフリーリフォームプランニング			
						14	図面作成（平面・断面図・展開図）			
						15	商品選択（キッチン・浴室・家具・照明器具）			
						16	プレゼンボード作成Ⅰ			
						17	プレゼンボード作成Ⅱ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	インテリア製図技術演習 I	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	1年次に習得した基礎的製図技術を活用して、自ら計画した建物の建築図面の一般図一式を作成できる力を習得し、同時に計画力の強化を図る。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	オリエンテーション・第1課題 実施設計図									
2	第1課題：平面図作図									
3	"									
4	第1課題：展開図作図									
5	"									
6	第1課題：平面図・展開図提出									
7	第1課題：天井伏図作図									
8	"									
9	第1課題：平面・展開・天井伏図提出									
10	第1課題：家具図作図									
11	"									
12	第1課題：平面・展開・天井伏図・家具図提出									
13	第2課題：仕上表・マテリアルサンプル作成									
14	"									
15	"									
16	"									
17	総合提出・重要事項確認テスト									
18	まとめ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	ベーシックデザイン演習	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	さまざまな単位空間をコンセプトワークによって創造させることにより、イメージを空間化する能力やプレゼンテーション能力を養う。イメージを構築するプロセスを3回経験することによって、コンセプトの重要性を理解する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	オリエンテーション			
						2	"			
						3	パターンデザイン			
						4	"			
						5	"			
						6	"			
						7	"			
						8	"			
						9	"			
						10	フロントファニチャー			
						11	"			
						12	"			
						13	"			
						14	"			
						15	"			
						16	"			
						17	まとめ			
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	演習	科目	レンダリング演習Ⅱ	総時間	前期 後期	2.0×17
指導目標	立体・空間の表現技術や図法・絵画技術を習得させる。 簡単な室内パース、外観パースが確実に起こせる技術を習得し、パース検定2級を取得する力をつける。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期				回数	後 期				
					1	手描きレンダリング① 家具、添景スケッチパース				
					2	手描きレンダリング② 家具、添景スケッチパース				
					3	手描きレンダリング③ 家具、添景スケッチパース				
					4	手描きレンダリング④ 家具、添景スケッチパース				
					5	手描きレンダリング⑤ アイソメ図				
					6	手描きレンダリング⑥ アイソメ図				
					7	手描きレンダリング⑦ アイソメ図				
					8	手描きレンダリング⑧ アイソメ図				
					9	手描きレンダリング⑨ 平面図、展開図色鉛筆着彩				
					10	手描きレンダリング⑩ 平面図、展開図色鉛筆着彩				
					11	手描きレンダリング⑪ 平面図、展開図色鉛筆着彩				
					12	手描きレンダリング⑫ 平面図、展開図色鉛筆着彩				
					13	手描きレンダリング⑬ 内観パース住宅				
					14	手描きレンダリング⑭ 内観パース住宅				
					15	手描きレンダリング⑮ 内観パース住宅				
					16	手描きレンダリング⑯ 内観パース住宅				
					17	手描きレンダリング⑰ 内観パースショップ まとめ				
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	プロジェクトデザイン演習	総時間	前期	4.0×18	
									後期		
指導目標	インテリアデザインビジネスにおける、論理的発想による企画・プランニング手法や立案方法を習得させ、一般コンサルティング業務を理解させる。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	デザインビジネスの現状 これからのデザインビジネス										
2	製品開発のプロセス										
3	企画・立案										
4	"										
5	ニーズ調査とデータ分析										
6	"										
7	"										
8	販売促進										
9	"										
10	"										
11	プレゼンテーション										
12	ディスカッション										
13	"										
14	"										
15	営業・販売										
16	"										
17	"										
18	プレゼン/まとめ										
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	インテリア製図技術演習Ⅱ	総時間	前期	4.0×17	
									後期		
指導目標	<p>インテリアに必要な家具や内観を描くための技術を定着させ、応用力をつける。インテリアを魅力的に表現する表現力を向上させ、空間全体のコーディネート在意図が伝わるように工夫することの重要性を理解させる。</p> <p>同時に、インテリアデザインのコンセプトを掘り下げ、具体化する手法を習得させる。</p>										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	プロダクトデザインの研究・市場調査				
						2	三面図				
						2	三面図				
						3	アイソメ・アクソメ				
						4	イメージパース表現とは				
						5	"				
						6	アイソメ・アクソメ				
						7	パース (テーマ: 玄関)				
						8	"				
						9	パース (テーマ: リビングダイニング)				
						10	"				
						11	"				
						12	パース (テーマ: フリー)				
						13	"				
						14	パース (卒制)				
						15	パース (卒制)				
						16	パース (卒制)				
						17	パース (卒制) ・まとめ				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作 (インテリアスタイリング コース)	総時間	前期 後期	8.0×17	
指導目標	<p>建物の設計または、増改築等を行い、自分が設定したテーマに沿った空間を創造する。 テーマに添って、主要室を中心に建築構造体・ファニチャー・ライティング・テキスタイル・オブジェ等で構成される調和のとれた空間を創造する。インテリアの構成要素を一つ一つ具体的に決定していく工程を経て、計算されたプレゼンテーションまでを完成させる。あるいは、ショップデザインについては、市場調査から経営、販促までのビジネスモデルデザインや価値観のデザイン、つまり新しい発想や着眼点から問題解決法を提案し、現実的かつ論理的なシステムデザイン企画設計を主とする作品を含む。こちらも、説得力のある、視覚的なプレゼンテーションまでを制作する。</p>										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)				
1	企画・デザイン提出					1	要項説明/企画発表会				
2	エスキースチェック 1					2	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)				
3	エスキースチェック 2					3	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)				
4	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)					4	図面チェック				
5	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)					5	図面チェック・修正				
6	企画ボード・図面提出・プレゼン (中間採点)					6	図面修正/パース作成				
7	図面修正/パース作成					7	図面修正/パース作成				
8	〃					8	図面修正/パース修正				
9	家具、内装材検討・選択					9	図面・パース修正 リアルモデル作成方針検討				
10	図面修正/パース修正					10	〃				
11	リアルモデル作成/仕上げ決定					11	プレゼン構成決定				
12	リアルモデル作成/仕上げ決定/マテリアル取り寄せ					12	リアルモデル作成/仕上げ表、家具図等作成				
13	リアルモデル作成/仕上げ表、家具図等作成					13	〃				
14	〃					14	パース・リアルモデル提出、チェック				
15	ボード、追加資料等編集					15	ボード、追加資料等編集				
16	プレゼンブラッシュアップ					16	プレゼンテーション (ボード編集ほか) 総合プレ提出 (全体チェック)				
17	科内プレゼンテーション 総合提出 (採点)					17	プレゼンブラッシュアップ				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作 (ショップデザインコース)	総時間	前期 後期	8.0×17	
指導目標	<p>建物の設計または、増改築等を行い、自分が設定したテーマに沿った空間を創造する。 テーマに添って、主要室を中心に建築構造体・ファニチャー・ライティング・テキスタイル・オブジェ等で構成される調和のとれた空間を創造する。インテリアの構成要素を一つ一つ具体的に決定していく工程を経て、計算されたプレゼンテーションまでを完成させる。あるいは、ショップデザインについては、市場調査から経営、販促までのビジネスモデルデザインや価値観のデザイン、つまり新しい発想や着眼点から問題解決法を提案し、現実的かつ論理的なシステムデザイン企画設計を主とする作品を含む。こちらも、説得力のある、視覚的なプレゼンテーションまでを制作する。</p>										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)				
1	企画・デザイン提出					1	要項説明/企画発表会				
2	エスキースチェック 1					2	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)				
3	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)					3	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)				
4	作図 (平面・展開・天井伏・仕上表・家具)					4	図面チェック				
5	企画ボード・図面提出・プレゼン (中間採点)					5	図面チェック・修正				
6	図面修正/パース作成					6	図面修正/パース作成				
7	図面修正/パース作成					7	図面修正/パース作成				
8	図面修正/パース作成					8	図面修正/パース修正				
9	家具、内装材検討・選択					9	図面・パース修正 リアルモデル作成方針検討				
10	図面修正/パース修正					10	プレゼン構成決定				
11	リアルモデル作成/仕上げ決定					11	リアルモデル作成				
12	リアルモデル作成/仕上げ決定/マテリアル取り寄せ					12	仕上げ表、家具図等作成				
13	リアルモデル作成/仕上げ表、家具図等作成					13	パース・リアルモデル提出、チェック				
14	リアルモデル作成/仕上げ表、家具図等作成					14	ボード、追加資料等編集				
15	ボード、追加資料等編集					15	プレゼンテーション (ボード編集ほか)				
16	プレゼンブラッシュアップ					16	総合プレゼ提出 (全体チェック)				
17	科内プレゼンテーション 総合提出 (採点)					17	プレゼンブラッシュアップ				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	卒業制作 (家具・照明デザインコース)	総時間	前期 後期	8.0×17
指導目標	<p>用途・素材・構造について調査、研究し、また工具・道具の使い方と機能を知り、テーマを各自で設定し、設計・企画を進める。まずプロダクトデザインのデザインワークの考え方を理解した上でオリジナルの発想やアイデアを取り入れた家具づくりを目指す。</p> <p>その家具を中心に建築・インテリア・ファニチャー・ライティング・テキスタイル・オブジェ等を、調和のとれた空間として創造しインテリアスタイルも提案する。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)			
1	企画・デザイン提出					1	要項説明/企画発表会			
2	エスキースチェック 1					2	材料検討、方針検討			
3	材料検討、方針検討					3	企画書・3面図作成			
4	スタディモデル作成					4	素材・色彩検討、決定			
5	企画書・原寸図・スタディモデル 提出・発表 (中間採点)					5	作図			
6	作図					6	作図			
7	制作工程検討					7	材料発注			
8	制作工程決定					8	材料発注完了			
9	原寸図・詳細図作図					9	原寸図・詳細図作図			
10	実物作成					10	実物作成			
11	実物作成					11	実物作成			
12	実物作成					12	実物作成			
13	実物作成					13	実物作成			
14	実物作成					14	プレゼンテーション (ボード編集ほか)			
15	実物提出、チェック					15	プレゼンテーション (ボード編集ほか)			
16	総合ブレ提出 (全体チェック)					16	プレゼンブラッシュアップ			
17	科内プレゼンテーション 総合提出 (採点)					17	プレゼンブラッシュアップ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	トータルコーディネート演習 I (インテリアスタイリングコース)	総時間	前期 後期	4.0×18
指導目標	<p>前期は、自分がデザインしようとしているものに求められる一般的な機能や計画、イメージの作り方などを内装リノベーション、ディスプレイ、テーブルコーディネートを通して習得する。 以上のウォーミングアップを経て、後期にはオリジナルデザインを構築し具現化できる力を養う。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	レンタックス 現場調査									
2	レンタックス									
3	"									
4	"									
5	"									
6	"									
7	"									
8	レンタックス 学科内プレゼン/講評									
9	VMDデザイン									
10	"									
11	"									
12	"									
13	"									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	企画ボード制作・プレゼン									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	トータルコーディネーション演習 Ⅱ (インテリアスタイリングコース)	総時間	前期 後期	4.0×17
指導目標	<p>住まいのあり方について、住まい手の個性やライフスタイルをインテリアデザインに反映させた提案ができる力を養い、様々な要求を満たしながら快適で調和のとれたインテリアデザインとは何かを深く追求し、感性に訴えるかける説得力のある作品作りを目指す。 またすでに学んだプレゼンテーションスキルを活用してコンペに応募し、実践力、応用力を身につける。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)			
1	コンテスト 課題説明					1	コンテスト コンセプトワーク			
2	コンテスト エスキスチェック					2	"			
3	"					3	コンテスト 図面作成			
4	"					4	"			
5	"					5	"			
6	"					6	"			
7	コンテスト 図面作成					7	コンテスト ダイアグラム作成			
8	"					8	"			
9	"					9	"			
10	"					10	"			
11	"					11	コンテスト ボード作成			
12	コンテスト ボード作成					12	"			
13	"					13	"			
14	"					14	"			
15	"					15	"			
16	"					16	講評			
17	"					17	ブラッシュアップ			
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	ショッププロデュース演習 I (ショップデザインコース)	総時間	前期 後期	4.0×18
指導目標	<p>自分がデザインしようとしているものに求められる一般的な機能や計画、イメージの作り方などを内装リノベーション、ディスプレイを通して習得する。 また、過去の卒制作品の研究や、現代社会におけるデザインを取り巻く事情を分析する時間を設け、自分のテーマを絞り込ませる。 以上のウォーミングアップを経て、後期にはオリジナルデザインを構築し具現化できる力を養う。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	レンタックス 現場調査									
2	レンタックス									
3	"									
4	"									
4	"									
5	"									
6	"									
7	"									
8	レンタックス 学科内プレゼン/講評									
9	アトラクションデザイン									
10	"									
11	"									
12	"									
13	"									
14	テーマ研究									
15	"									
16	"									
17	"									
18	企画ボード制作									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	ショッププロデュース演習 Ⅱ (ショップデザインコース)	総時間	前期	4.0×17	
									後期		
指導目標	<p>住まいのあり方について、住まい手の個性やライフスタイルをインテリアデザインに反映させた提案ができる力を養い、様々な要求を満たしながら快適で調和のとれたインテリアデザインとは何かを深く追求し、感性に訴えるかける説得力のある作品作りを目指す。 またすでに学んだプレゼンテーションスキルを活用してコンペに応募し、実践力、応用力を身につける。</p>										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)				
1	コンテスト 課題説明					1	コンテスト コンセプトワーク				
2	コンテスト エスキスチェック					2	コンテスト コンセプトワーク				
3	コンテスト エスキスチェック					3	コンテスト コンセプトワーク				
4	コンテスト エスキスチェック					4	コンテスト 図面作成				
5	コンテスト エスキスチェック					5	コンテスト 図面作成				
6	コンテスト エスキスチェック					6	コンテスト 図面作成				
7	コンテスト 図面作成					7	コンテスト 図面作成				
8	コンテスト 図面作成					8	コンテスト ダイアグラム作成				
9	コンテスト 図面作成					9	コンテスト ダイアグラム作成				
10	コンテスト 図面作成					10	コンテスト ダイアグラム作成				
11	コンテスト 図面作成					11	コンテスト ダイアグラム作成				
12	コンテスト ボード作成					12	コンテスト ボード作成				
13	コンテスト ボード作成					13	コンテスト ボード作成				
14	コンテスト ボード作成					14	コンテスト ボード作成				
15	コンテスト ボード作成					15	コンテスト ボード作成				
16	コンテスト ボード作成					16	発表会・講評				
17	コンペ作品発表会					17	ブラッシュアップ				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	商品プロデュース演習 I (家具・照明デザインコース)	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	<p>自分がデザインしようとしているものに求められる一般的な機能や計画、イメージの作り方などを内装リノベーション、ディスプレイを通して習得する。 また、過去の卒制作品の研究や、現代社会におけるデザインを取り巻く事情を分析する時間を設け、自分のテーマを絞り込ませる。 以上のウォーミングアップを経て、後期にはオリジナルデザインを構築し具現化できる力を養う。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	レンタックス 現場調査									
2	レンタックス									
3	"									
4	"									
5	"									
6	レンタックス 学科内プレゼン/講評									
7	プロダクトデザイン基礎									
8	"									
9	"									
10	"									
11	"									
12	"									
13	テーマ研究									
14	"									
15	"									
16	"									
17	"									
18	テーマについてディスカッション・ブラッシュアップ									
備考										

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	演習	科目	商品プロデュース演習Ⅱ (家具・照明デザインコース)	総時間	前期 後期	4.0×17	
指導目標	<p>住まいのあり方について、住まい手の個性やライフスタイルをインテリアデザインに反映させた提案ができる力を養い、様々な要求を満たしながら快適で調和のとれたインテリアデザインとは何かを深く追求し、感性に訴えるかける説得力のある作品作りを目指す。 またすでに学んだプレゼンテーションスキルを活用してコンペに応募し、実践力、応用力を身につける。</p>										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	後 期 (前 半)					回数	後 期 (後 半)				
1	コンテスト 課題説明					1	コンテスト コンセプトワーク				
2	コンテスト エスキスチェック					2	コンテスト コンセプトワーク				
3	コンテスト エスキスチェック					3	コンテスト コンセプトワーク				
4	コンテスト エスキスチェック					4	コンテスト コンセプトワーク				
5	コンテスト 図面作成					5	コンテスト 図面作成				
6	コンテスト 図面作成					6	コンテスト 図面作成				
7	コンテスト 図面作成					7	コンテスト 図面作成				
8	コンテスト 図面作成					8	コンテスト ダイアグラム作成				
9	コンテスト 図面作成					9	コンテスト ダイアグラム作成				
10	コンテスト 図面作成					10	コンテスト ダイアグラム作成				
11	コンテスト ボード作成					11	コンテスト ボード作成				
12	コンテスト ボード作成					12	コンテスト ボード作成				
13	コンテスト ボード作成					13	コンテスト ボード作成				
14	コンテスト ボード作成					14	コンテスト ボード作成				
15	コンテスト ボード作成					15	コンテスト ボード作成				
16	コンテスト ボード作成					16	講評				
17	コンペ作品発表会					17	ブラッシュアップ				
備考											

学科	インテリアデザイン科	学年	1	区分	実習	科目	アッセンブリアワー (ASH)	総時間	前期	2.0×18	
									後期	2.0×17	
指導 目標	各科目の授業時間では実施困難なことを横断的・総合的に行い、学生一人一人の生きる力を養うこと。 ※具体例：①学則・全体カリキュラムの説明 ②単位習得の条件 ③学習の手引き ④資格ガイダンス ⑤進路指導 ⑥学校行事とその準備 ⑦校外学習とその準備・予習復習(見学・実習)										
評価 方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	学習の手引き/資格選択ガイダンス					1	イケフェスの準備				
2	選択授業の確認、補足説明					2	イケフェスの準備				
3	資格講座について					3	イケフェスレポート発表				
4	インテリア設計士・リビングスタイリスト試験対策					4	求人情報の見方/インターネット登録				
5	インテリア設計士・リビングスタイリスト試験対策					5	希望職種・業種/適性検査				
6	インテリア設計士・リビングスタイリスト試験対策					6	就職指導 エントリーシート(自己分析から自己PR)				
7	インテリア設計士・リビングスタイリスト試験対策					7	就職指導 エントリーシート(自己分析から自己PR)				
8	プレゼンの研究					8	就職指導 エントリーシート(履歴書)				
9	プレゼンの研究					9	就職指導 就職試験対策				
10	プレゼンの研究					10	就職指導 就職試験対策				
11	業界研究					11	選択コースガイダンス				
12	業界研究					12	冬休み直前ガイダンス				
13	業界研究					13	求職登録票/1年次授業ガイダンス				
14	業界研究					14	ポートフォリオ作成				
15	転科・後期について					15	ポートフォリオ作成				
16	試験について・課題提出について					16	ポートフォリオ作成				
17	インターンシップ報告見学					17	進級ガイダンス				
18	後期について										
備 考											

学科	インテリアデザイン科	学年	2	区分	実習	科目	アッセンブリアワー (ASH)	総時間	前期	2.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	<p>学校行事やクラス運営に関する事項の伝達ほか、学生が充実した学生生活をおくれるようにする。 また、学生の進路の自己実現に向けての自主性を育成するとともに、組織的、継続的な調査や各種小テストなどを活かして、学生一人一人の進路の自己実現が図れるように指導する。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	進級ガイダンス・授業構成・資格対策					1	後期ガイダンス			
2	ポートフォリオ発表会委員決め（スポーツ大会他）					2	進路指導 2級建築士資格について			
3	1・2年交流イベント					3	就職指導 業界研究			
4	インターンシップガイダンス					4	ビジネススキル			
5	"					5	"			
6	業種、職種研究					6	特別講義			
7	"					7	ファシリテーションスキル			
8	"（デザイン事務所）					8	"			
9	"					9	"			
10	"（家具、住宅設備、建材メーカー）					10	作品編集			
11	"					11	"			
12	"（住宅設計）					12	"			
13	"					13	冬期休暇ガイダンス			
14	"（店舗・ディスプレイ）					14	課外学習			
15	"					15	課外学習			
16	インターンシップ(夏休み)直前ガイダンス					16	課外学習			
17	"					17	卒業ガイダンス			
18	インターンシップ報告会（1，2年合同）									
備考										